



羽島市

羽島市におけるまちづくり



羽島市長 白木義春

社団法人岐阜県都市整備協会様が、このたびの設立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

当羽島市では、現在、羽島市第五次総合計画に基づき「ともにつくる、明日につながる元気なまち・羽島」を目指して、まちづくりに取り組んでおります。

羽島市は、名古屋経済圏の中にあつて、新幹線岐阜羽島駅と名神高速道路岐阜羽島インターチェンジの二大交通結節点を近接して併せ持つという、地の利を活かした近隣地域の中心的な役割を担うまちづくりが求められています。現在、駅・インター周辺の都市基盤整備を着実に推進するとともに、東西軸の道路整備、企業が立地できる条件整備を進めているところです。駅及びインター周辺については、駅東土地区画整理事業・インター北土地区画整理事業・駅北本郷土地区画整理事業と3つの区画整理事業により、公共施設の増進、宅地の開発、駅周辺交通体系の整備などに積極的に取り組み、事業の進展にあわせて周辺の開発環境も整ってきたところであります。



基盤整備が進む岐阜羽島インター、JR岐阜羽島駅周辺

厳しい財政環境の中である今こそ、地に足の着いた事業の推進と、将来を見据えた重点的な投資が必要であると思います。福祉・医療・教育・防災・環境など、市民の皆様が求める施策を着実に進め、誰もが望む生き方ができるまちづくりに努めてまいります。

「自立」と「元気」をつかんできた羽島市が、「もっと元気」な羽島市となりますように、市民の皆様と行政が協働してまちづくりを進めていただきますとともに、私自身も市政の運営に全力を傾け、「ともにつくる、明日につながる 元気なまち・羽島」を実現してまいりたいと思います。